

2023 年度
麗澤・地域連携実習
成果報告書

麗澤大学

地域連携センター

目次

()内は連携先

1. 若者が結婚・妊娠・出産・子育てに希望をもってもらうために必要な支援策とは
(柏市・こども政策課) p1
2. 公共施設の将来について(柏市・資産管理課) p3
3. 若者の自殺予防を考える(柏市・福祉政策課) p4
4. 「柏の歴史」をテーマに記事を作成し、それについて様々な情報媒体を駆使して
多くの人に見てもらおう!(柏市・文化課) p6
5. 柏駅前に人を呼び込むための核となる施設を考える
(柏市・中心市街地整備課) p8
6. 「柏市在住外国人の困りごと」(柏国際交流協会[KIRA]) p10
7. ビジネスホテルの遊休施設の有効活用
(グランパークホテル・ザ・ルクソー南柏) p12
8. Que tal um Cafézinho (カフェジンニョ)のマーケティング
(Que tal um Cafézinho[カフェジンニョ]) p14

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	若者が結婚・妊娠・出産・子育てに希望をもってもらうために必要な支援策とは		
連携先 企業名・部局名	柏市こども政策課		
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの氏名を記入ください。	1	西村逢花	7
	2	田代彩華	8
	3	原田桃花	9
	4	畑山里菜	10
	5	内澤理予	11
	6	ニコルス麗音	12
担当教員名	小高 新吾		
活動スケジュール 概要	<p>期間中毎週木曜日の昼休みにミーティング</p> <p>10/24 初回ミーティング</p> <p>10/25 柏市役所訪問（こども政策課とキックオフミーティング）</p> <p>11/16 柏市と打ち合わせ（zoom）</p> <p>12/14 学内アンケート調査 展示作業</p> <p>12/21 学内アンケート調査 片付け</p> <p>01/22 柏市に成果報告</p> <p>01/24 全体成果報告会</p>		
テーマ概要	若者が「結婚や子育てをしたい街」にするにはどうすればよいか。結婚や子育てに希望を持てる明るい社会を作るために、何ができるのかを学生同士が話し合い自分たちで考えた支援策を柏市に提案する。		
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ・柏市役所訪問 ・柏市役所とオンラインでのミーティング ・学内アンケート調査 ・ミーティング（毎週木曜日） 		
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚新生活支援事業 ・夫婦別姓制度導入に向けたパートナーシップ制度の周知 ・学習塾の授業料の補助 		
連携先からの フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生が今考えている意見を直接聞ける貴重な機会になり感謝している。 ・漠然としたテーマにも関わらず良く調べ、また若者世代の視点からの提案としてまとめられた点、敬意を表したい。 		
所感・まとめ	普段は関わることのないメンバーたちと協力しながら様々なことを考え、意見を出し合い有意義な時間を過ごすことができた。また、柏市役所からは「若者世代ならではの提案」と評価して頂くことができ、役に立てれば嬉しいと思う。		
その他 成果物・画像等 *添付も可	<p>（結婚や子育てに関する学内アンケート調査）</p> <p>https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSecjksmH5YxPDTGrTVbKsvG8rBVLmdmAA9g_b4iciio9uYg0w/viewform?usp=sf_link</p>		

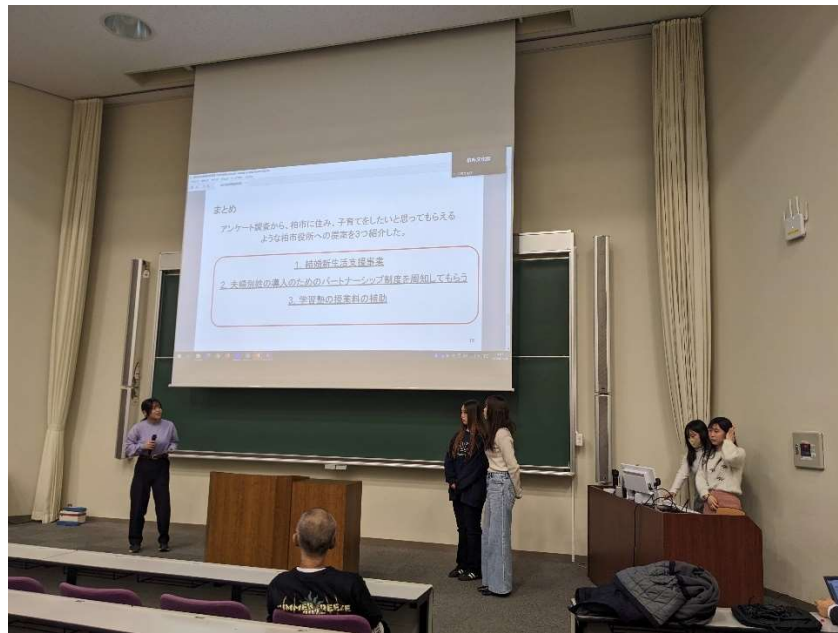
(柏市役所との打ち合わせ<10月、11月、1月>)



提案内容

提案1 結婚新生活支援事業
 提案2 夫婦別姓の導入
 提案3 学習塾の授業料補助

(全体成果発表会)



(報告イメージ)

アンケート結果

柏市で結婚・子育てをしてもらうために
西村海花 田代尚幸 藤田結花 釜山聖実 内巻舞子 ニコルス麗音

1. 結婚願望はありますか？
11名回答

はい	81%
いいえ	4.8%
わからない	14.3%

2. 将来子どもを産みたいですか？
21名回答


はい	57.1%
いいえ	9.5%
わからない	33.3%

3. 柏市、柏市に産みたいですか？
21名回答

はい	47.6%
いいえ	52.4%
わからない	0%

● はい
 ● いいえ
 ● わからない

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	公共施設の将来について			
連携先 企業名・部局名	柏資産管理課			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	佐藤 柊太	7	飯塚 美羽
	2	加藤 咲奈	8	
	3	銭谷 樹乃	9	
	4	須貝 京冴	10	
	5	柳沼 翔一	11	
	6	山出 優太郎	12	
担当教員名	籠 義樹 教授			
活動スケジュール 概要	11/9 顔合わせ 11/14 勉強会 12/7 柏資産管理課の方へヒアリング調査 1/11 柏資産管理課の方へプレゼンテーションを実施			
テーマ概要	柏市の公共施設の 30 年後を考える			
調査内容	近隣センターの現状と課題について			
先方への 提案内容	近隣センター利用率増加のために、どのような取り組みをすれば需要が増加するか。 実際にはブックカフェとリモートスペースを提案			
連携先からの フィードバック	稼働率が低い部屋をどう利用するか 利用者への周知 大学側と連携していくことができれば			
所感・まとめ	私たちの身近に存在する近隣センター、ひいては柏市にこのような課題が存在するなど思ってもみなかった。 今回の活動で市の様々な課題を知り、それに対しどのような対策をしているか、そして、他人事でいては何も解決しないと理解できた。 今回は柏市が例だったが、自分の市の状況も確認しようと思う。			
その他 成果物・画像等 *添付も可	最終発表プレゼン 麗澤地域連携実習.pptx  実際の活動の様子			

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	若者の自殺予防を考える			
連携先 企業名・部局名	柏市役所福祉部福祉政策課 (協力：麗澤大学学生相談センター 吉原 啓カウンセラー)			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	永田 愛己	7	過足 穂ノ香
	2	日向 大和	8	
	3	小林 駿介	9	
	4	石井 蓮也	10	
	5	高砂 拳太	11	
	6	西村 空海	12	
担当教員名	大野 正英			
活動スケジュール 概要	11/17 第一回ミーティング 11/28 柏市役所福祉部福祉政策課へのインタビュー 12/8 第二回ミーティング 12/15 麗澤大学学生相談センターの吉原啓さんへのインタビュー 12/22 第三回ミーティング 1/19 第四回ミーティング、成果報告会の準備 1/24 成果報告会 1/26 麗澤大学学生相談センターの吉原啓さんからのフィードバック 1/30 柏市市役所福祉部福祉政策課への報告			
テーマ概要	現在の社会では若者の自殺についての問題が起こっている。そのような問題を私たち若者自身である学生が自殺予防について考える機会を設けた。また自殺予防について、他の学生や周囲にも波及させていくような動きができれば尚良いと考えられている。			
調査内容	柏市役所福祉政策課の方々のインタビューでは、自殺者の特徴や柏市役所がどのような自殺予防があるのかを教えていただいた。柏市では自殺予防に関する紙が入ったポケットティッシュ配布をしたり、市役所のホームページには自殺をしようとしている人に対してのメッセージを見せて自殺を踏みとどめたり、ゲートキーパー研修をして市役所の役員だけでなく地域の人々にも協力していきやすい街づくりをしている、このような自殺対策を聞くことができた。 麗澤大学学生相談センターの吉原啓さんへのインタビューでは、麗澤大学では学生への様々なイベントを行っていたり、近年に新しく学部ができる工学部ではメタバースでコミュニケーションができる場所を増やしたりという自殺予防に関連することを聞くことができた。			
先方への 提案内容	麗澤大学の学生を中心に自殺防止をしていくということで、まずは学生が使用率の高い SNS(X やインスタグラム)で呼び掛けたりや、対面やオンラインで相談できる麗澤大学の学生相談センターの宣伝などの活動を教えていただいた。			
連携先からの フィードバック	インタビューやこの報告会でもそうでしたが、学生ならではのアイデアがあり、下調べも完璧な学生さんもありました。学生さんの頑張りの様子がみられました。			

	<p>(柏市役所福祉部福祉政策課) 誤解のある部分などの指摘をいただき、より分かりやすい資料が出来上がりました。(麗澤大学学生相談センター) このようなフィードバックを上記以外にもいただいた。</p>
<p>所感・まとめ</p>	<p>あまり予定が合わなくグループ全員で集まるのが難しいことが多く、まとめるのが難しい所があった。さらにネガティブな課題でもあり、明るいような意見を出すのが困難だった。さらに日常ではあまり体験する人が少ない人も多く、意見を出すというところで躓くことがあった。しかし、柏市役所の方々や学生相談室の吉原さんからの意見を聞き、自分たちのアイデアを出すことに成功した。私たちはこの講義を受け、自殺の現状や原因、私たち学生がどのように自殺予防をするのかという日常に潜む課題を取り組むことができた。外部とのコミュニケーションも経験を積むこともでき、実感を得ることができました。これからも、私たちはこの講義で得た知識や経験を磨き、活かしていきたいと思う。</p>
<p>その他 成果物・画像等 ＊添付も可</p>	  <p>※上記はこのグループが設立したInstagramと資料の様子の画像である。 @regional_cooperation.ru • Instagram 写真と動画</p> <p>パワーポイントのスライドは次のリンク先を参照。 https://docs.google.com/presentation/d/1r3X_gZjnIfGTvBkh2k8q2Z1jjXuH_Dy/edit?usp=drive_link&ouid=107397720930087868626&rtpof=true&sd=true</p>

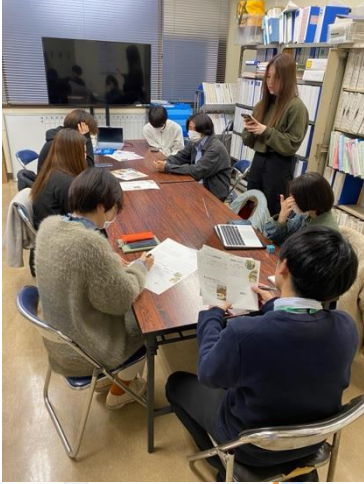

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	「柏の歴史」をテーマに記事を作成し、それについて様々な情報媒体を駆使して多くの人に見てもらおう！			
連携先 企業名・部局名	柏市教育委員会生涯学習部文化課			
グループメンバー (フルネーム)	1	平田 智哉	7	
	2	鵜飼 明日香	8	
	3		9	
	4		10	
	5		11	
	6		12	
担当教員名	櫻井良樹			
活動スケジュール 概要	<p>10/23 櫻井先生との顔合わせ、今後の予定(Zoom)</p> <p>11/17 柏市文化課の方々との顔合わせ、今後の予定</p> <p>11/28 視察で回りたい場所候補を先方に提出</p> <p>12/15 柏市文化課の方々とは柏巡り</p> <p>12/20 櫻井先生に視察報告(Zoom)</p> <p>12 月末から 1 月提案などを 2 人でまとめる作業</p> <p>1/23 柏市文化課に記事を提出/報告会資料提出</p> <p>1/24 全体成果発表会</p>			
テーマ概要	<p>若者世代にとって「来週末、訪れたいまち」「将来、住みたいまち」の候補に、柏も入るにはどうすればよいか。</p> <p>なお、「柏の歴史・文化財」を素材に、柏の PR・宣伝(プロモーション)を行う。</p>			
調査内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. フィールドワークで柏市の行ってみたい場所を調べる 2. 柏市の施設を視察 3. 記事作成によるテーマ決め、課題を考察 4. 解決策の立案 			
先方への 提案内容	<p><問題点></p> <p>交通手段が少ない。</p> <p>景色が良いが、足元が悪く、疲れやすい。</p> <p><提案></p> <p>① 柏市公式の X を活用した宣伝をする。</p> <p>② イベントやスタンプラリーなどをマーケティング層ごとに、テーマを変えてイベントを行う。</p> <p>① 広告を拡散してくださった方② 場所ごとの特典または全部回れた方に特典をつける。(柏の地域名産物)</p>			
連携先からの フィードバック	<p>市役所が記事を作成すると、文章が硬くなってしまいます。しかし、学生が記事を作成することで柔らかな文章の記事ができたのはよかったです。また、電子スタンプラリーを取り入れる発想もいいと思います。ですが、情報発信の方法はさらに</p>			

	深掘れるといいと思いました。
所感・まとめ	<p>今回の実習を通して、柏市にはたくさんの素晴らしい景色があることを知ることができました。その一方で、柏市の魅力があまり知られていないため、どうしたらこの魅力を広められるかということについてとても悩みました。また視察では、市役所の方に現地に来て行っていただき、詳しい説明などをしてくださりとて楽しく活動することができました。班員が 2 人と少人数でしたが、お互いの時間を確保し、限られた時間の中で意見を出し合い、協力して成果を出せたことを今後活かしていきたいと思いました。また市役所の方と連絡する際に身につけたマナーなども今後外部の方と関わる際に活かしていきたいと思います。櫻井先生と柏市文化課の方々には質問や相談にのっていただき、大変お世話になりました。今回の実習に参加して良かったと思います。</p>
その他 成果物・画像等 *添付も可	<p>(1)記事 (2)成果発表資料 (3) 柏市のホームページに掲載された記事</p>

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	柏駅前に人を呼び込むための核となる施設を考える			
連携先 企業名・部局名	柏市中心市街地整備課			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	藤代 福汰郎	7	高橋 滉祐
	2	小澤 ちふゆ	8	平野 秀
	3	石山 陽	9	和田 隆之介
	4	黒須 大翔	10	内田 琳太郎
	5	生井 柊羽	11	伊藤 萌
	6	野口 慶彦	12	池田 望
担当教員名	大越 利之			
活動スケジュール 概要	毎週水曜日昼休みに集まって活動 10月24日 顔合わせ 12月5日 柏市役所に取材 1月18日 柏市役所に提案 1月24日 全体成果報告会			
テーマ概要	柏駅前には旧そごうの空きビルがあり、駅前という好立地にも関わらず、ここ数年有効活用されて来なかった。しかし最近では柏市が購入して再開発する案も出てきている。この空きビルを含め、柏駅前にどのような施設があれば人々が集い、街に賑わいを創出できるかについて検討する。			
調査内容	現在の柏駅前の「マイナスなイメージ」をグループ内で共有し、それを出発点に駅前に人が集まるために必要なものを検討した。具体的には、柏駅前の現地調査、他の都市の成功事例の調査、友人や知人に柏駅前のイメージを聞くなどし、具体案（提案）を考えた。			
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏駅のデッキの一部にガラス床を導入（参考：スカイツリー） ・ 旧そごうの建物に図書館（ブックカフェ）を導入（参考：武雄市図書館） ・ ビッグカメラなどの壁面を利用してプロジェクションマッピングを行う（参考：東京駅） 			
連携先からの フィードバック	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏駅前の「悪いイメージ」が主観的であるとの指摘。せっかく聞いたのであればデータを集めクロス分析などを行うべきであった。 ・ 柏駅前に「若者向けの施設がない」という意見に対し、若者の定義が曖昧との指摘があった。20代以上は楽しめるようなカラオケなどはある。表記を中高生や18歳以下などとする必要があった。 ・ デッキのガラス板の提案について、デメリットなども考慮すべきとの指摘があった。必ずしも子供が喜ぶだけでなく、怖がる可能性がある。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ デッキ下はターミナルなのでひたくりがわかりやすく減ると弱い。 ➢ SNS映えや、「安心して通れます」の方が良い ・ ブックカフェのデメリットも考慮すべきとの指摘があった。 			

	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 「おしゃれな空間⇒本を読む人が増える（利用が増える）」という ような提案を求められていた ・ カフェやプロジェクションマッピングの主催者が明記されていないという指摘が あった。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 市が主催する？ 学生が人を呼びこむなど。 ・ 全体として、関連資料の提示や根拠が曖昧との指摘があった。
<p style="text-align: center;">所感・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 柏市役所の方と私たちの間で「若い」や「治安の良し悪し」の認識に差が生 じていることが分かった。 ・ 仮に私たちの提案が興味深かったとしても、実際に市民からの賛同が出な いと実現が難しく、今回の短い実習期間では「言いつばなしの提案」までが 限界だと感じた。 ・ 柏駅前を活気づかせるには市役所だけでは不可能で他の事業会社の協 力が必要であるため、円滑に実現することは難しい。
<p style="text-align: center;">その他 成果物・画像等 * 添付も可</p>	<div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <p style="text-align: center;">最終報告プレゼンテーション資料</p>

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	「柏市在住外国人の困りごと」			
連携先 企業名・部局名	柏市国際交流協会（KIRA）			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	松永 悠理	7	
	2	濱 あかり	8	
	3	福本 真士	9	
	4	張 偉進	10	
	5	黄 琳珈	11	
	6		12	
担当教員名	松島正明（国際学部国際学科 IEC 専攻）			
活動スケジュール 概要	<p>毎週月曜日にミーティング 10/30 初回ミーティング 11/16 KIRA さんとミーティング 11/20 スケジュール&やること決め 12/04 アンケート内容決め 12/08 アンケート作り開始 12/11 松島先生と zoom ミーティング 12/18 ポスター作り 12/25～01/15 アンケート回収 1/15 松島先生と zoom ミーティング 1/17 プレゼン資料作り 1/20 KIRA さんとミーティング</p>			
テーマ概要	外国人がより住みやすい街を作るために外国人の困りごとを調べる			
調査内容	<p>麗澤大学内の留学生や外国籍の先生、麗澤大学付近にすむ外国人へアンケート アンケート結果をもとにどのような対策を行ったら問題解決につながるか意見交換</p>			
先方への 提案内容	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアル（パンフレット）作り →よく使う漢字、ゴミの分別・出し方、お店や災害避難所など近隣情報、電車の利用方法や交通ルールなど ・無料の日本語教室 ・マナー講座（英語） ・外国語対応可能な職員をわかりやすくする ・交流イベント →体育祭（学校全校生徒対象）など ・予習・復習資料の作成 ・教科書のデジタル化 			
連携先からの フィードバック	アンケート調査から外国人が困っている問題点を掘り出し、提案された問題解決への内容は、私達にとってとても参考になるものでした。これからの KIRA の活動の中で、みなさんのご提案に取り組んでいきたいと考えています。			

<p>所感・まとめ</p>	<p>異なる文化や言語の理解を深める良い機会でした。自分が思っていた以上に困っていることや、日常生活の中で難しいと思う場面が多くあることを改めて知ることができました。私自身が外国人の方々にできることは何か考え、行動していきたいです。</p>								
<p>その他 成果物・画像等 *添付も可</p>	<div data-bbox="437 383 895 1016"> <p>QUESTIONNAIRE ON PROBLEMS FOREIGNERS FACE WHEN LIVING IN JAPAN 外国人の困りごとに関するアンケート</p>  <p>IN A CLASS CALLED "REITAKU AND REGIONAL COLLABORATION PRACTICUM" AT REITAKU UNIVERSITY, I AM RESEARCHING WHAT KIND OF PROBLEMS FOREIGNERS FACE WHEN LIVING IN JAPAN. I WOULD APPRECIATE YOUR COOPERATION IN FILLING OUT THE SURVEY.</p> <p>麗澤大学の「麗澤・地域連携実習」という授業で、外国人の困りごとに関する研究をしています。アンケートのご協力をお願いします。</p> <p><small>作成：北本 悠輝 所属学部：麗澤大学 国際学部 国際学部 国際学部 国際学部 国際学部 お問い合わせ先：国際学部 国際学部 国際学部 国際学部 国際学部</small></p> </div> <div data-bbox="437 1066 1249 1514"> <h3>アンケート結果</h3> <table border="1"> <tr> <td>ゴミの分別 出し方</td> <td>言語（漢字） がわからない</td> <td>電車のマナー 利用方法</td> <td>日本人との交流 が少ない</td> </tr> <tr> <td>自転車のルール</td> <td>手続き関係 が難しい</td> <td>日本の食材の使い 方がわからない</td> <td>外国語を使える 人が少ない</td> </tr> </table> </div>	ゴミの分別 出し方	言語（漢字） がわからない	電車のマナー 利用方法	日本人との交流 が少ない	自転車のルール	手続き関係 が難しい	日本の食材の使い 方がわからない	外国語を使える 人が少ない
ゴミの分別 出し方	言語（漢字） がわからない	電車のマナー 利用方法	日本人との交流 が少ない						
自転車のルール	手続き関係 が難しい	日本の食材の使い 方がわからない	外国語を使える 人が少ない						

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	ビジネスホテルの遊休施設の有効活用			
連携先 企業名・部局名	ホテル・ザ・ルクソー南柏			
グループメンバー (フルネーム) 「1」にはグループリーダーの の氏名を記入ください。	1	永盛 貴美	7	中川 太幹
	2	貞末 彩華	8	山田 奈生子
	3	宮部 幸大	9	
	4	佐藤 真優	10	
	5	町田 芽瑛	11	
	6	鈴木 悠治郎	12	
担当教員名	下田健人			
活動スケジュール 概要	毎週月曜日昼休みに打ち合わせ ホテルとの打ち合わせ、麗澤高校との打ち合わせ 11月20日～30日、トライアルの実施 アンケート集計、結果報告（ホテル、麗澤高校）			
テーマ概要	レストランの営業時間外の有効活用			
調査内容	1. ホテル側との打ち合わせによるニーズ把握 2. 有効活用の可能性に関するいくつかの案を提示 3. 中高生への自習スペースの提供で合意 4. 麗澤高校との打ち合わせ。トライアルの実施 5. トライアル時期にアンケート調査実施。			
先方への 提案内容	1. 利用者の高い需要の確認。継続実施を希望 2. 継続に関する検討事項として、有料サービスの可能性、チューターの必要性、利用条件変更の可能性を提示。 3. しかし、メンバーの結論として、トライアル実施の形での継続を提案。			
連携先からの フィードバック	高い評価を得る。 ホテル側、高校側ともに満足度の高いプロジェクトであるため、継続を検討。 今後は、ホテルと麗澤高校が直接交渉検討する。			
所感・まとめ	今回初めて企業側と連絡を取ったり、打ち合わせとをしたり実践的な経験をして、貴重な経験になったと思います。初めての経験に不安も募りましたが成功して良かったです。（リーダー） 実際に企業様との連携をしてメールのやり取りはしていませんが、自習室の管理などの経験をさせていただいて大変ではありましたがとても貴重な経験でした。（メンバー） この講義を通して地域の方々と関わることができ、良い経験になりました。アイデアを出し合うことやどのアイデアがより地域に貢献できるのかなど多くのことを考える			

	ことが出来ました。情報収集や分析、資料作成の経験を今後に活かしていきたいと思いました。(メンバーN)
その他 成果物・画像等 *添付も可	

2023 年度「麗澤・地域連携実習」成果報告書

担当テーマ名	Que tal um Cafézinho (カフェジンニョ)のマーケティング			
連携先 企業名・部局名	Que tal um Cafézinho (カフェジンニョ)			
グループメンバー	1	横山 純華	7	福澤 海斗
	2	伊藤 好美	8	八重樫 響
	3	大塚 ほのか	9	山崎 良智嘉
	4	北村 凪	10	横場 和希
	5	鈴木 瞭太	11	劉 家旗
	6	引地 ルイ	12	
担当教員名	吉田 健一郎 先生			
活動スケジュール 概要	<p>10.16：チーム集合</p> <p>10.25：カフェに実際に行きお話を聞く</p> <p>11.15：インスタ班と企画班 発足</p> <p>11.16～：インスタ班 カフェ訪問・動画作成など</p> <p>企画班 試食会企画・ポスター制作・メニュー確認など</p> <p>1.10：試食会@あすなろ 2 階プレゼンテーションテラス</p> <p>1.20～：インスタに紹介動画投稿</p> <p>1.24：成果報告会</p>			
テーマ概要	<p>麗澤大学から徒歩 5 分！本場ブラジル料理が楽しめる自宅カフェ Que tal um Cafézinho(カフェジンニョ)。一度行ってしまえば、アットホームな雰囲気になりピーター続出！しかし、思うように麗澤の学生さんにお店の場所を知ってもらえない、集客が難しいという問題を 私たちが様々な面からアプローチし、改善します！</p>			
調査内容	<p>カフェジンニョの概要、現状の問題把握</p> <p>店主さんのこだわりを調査</p> <p>1 回の発信でより多くの人に見てもらえるツール</p>			
先方への 提案内容	<p>大学からカフェまでの道案内動画</p> <p>SNS を通じてのメニュー紹介・広報</p> <p>インスタグラムの QR コード・メニューを載せたチラシ</p> <p>大学内でのイベント開催(試食会)</p> <p>スタンプカードの作成</p>			
連携先からの フィードバック	<p>普段、大学に入って多くの学生さんに大きく宣伝したり、カフェの事を知ってもらえる事があまりないので、貴重な機会でした。色々なアイデアを出したり、準備をお手伝いしたり一人ひとり本当に頑張ってくれました。</p>			
所感・まとめ	<p>3 学部からバランスよく集まり、なかなかお互いを深く知る時間は作れませんでした。個々の強みを活かしつつ、多忙な期間も補い合って活動ができました。集客の方法について提案しあう時には個々に考えがあり、結果として最善の方法で集客の手助けができたのではないかと思います。また一斉に空き時間をとるこ</p>			

とは難しかったものの、各自の空き時間でカフェに訪れ、お話を聞いたり、イベントに向けての確認を行ったり深い連携がとれたと感じました。イベントを通して生徒同士の交流の活気づけ、多くの学生や先生にカフェ自体、カフェのメニューを知ってもらえると同時に、カフェで使えるコーヒー無料券を渡すことができました。また、カフェも開店して約1年とまだまだこれからなので、将来の動向が楽しみです。

Que tal um Cafezinho (カフェジニョ)インスタグラム
https://www.instagram.com/que_tal_um_cafezinho/
 投稿用の動画・メニュー紹介の作成



チラシ



試食会



その他
 成果物・画像等